

2027年3月期 第1四半期 決算(売上高、営業利益ともに過去最高)

(億円)

	2026年3月期	2027年3月期	増減
売上高	1,987	2,230	+243(+12.3%)
営業利益	82	149	+68(+83.1)
経常利益	60	138	+77(127.7%)
純利益	43	89	+47(+109.8%)

*売上高・営業利益は四半期ベースで過去最高、全ユニットで増収・増益

2027年3月期 通期業績予想(売上高・営業利益は増収・増益を計画、純利益は高水準を維持(2026年5月14日公表値を変えず))

(億円)

	売上高	営業利益	純利益
2027年3月期予想(A)	8,200	360	315
2026年3月期実績(B)	8,116	329	310
増減額(A-B)	+84	+31	+5
増減率(%)	+1.0%	+9.4%	+1.7%

セグメント別業績

① Material Solutions Unit :

塩ビはアジア安定供給を徹底し製品価格に反映。MODは全拠点での販売堅調、価格改定。MSは他素材からの置換が進展、価格改定を実施。Green Planetは人工芝など新規用途

② Quality of Life Solutions Unit:

発泡は農水産・建築分野で販売増。安定供給とコストダウンに努め、価格改定を実現。ポリ伸び悩むが、大型液晶TV向け光学フィルム販売好調。太陽電池は国内戸建て住宅向け高価販売好調。繊維は頭髮製品・難燃ファブリックともに販売堅調。

③ Health Care Solutions Unit :

医療器は血液浄化器・カテーテルともに販売拡大。海外向け拡販、M&Aが業績に貢献。医療販売集中の影響を受ける。

④ Nutrition Solutions Unit:

サプリメントは米国・アジアを中心に還元型Q10の販売増。乳酸菌の着実に販売伸長。食品は高付加価値品へのシフトが進展。価格改定も実施。

を実現。
全での採用拡大。

イミドフィルムは
効率太陽電池の

薬は前年4Qでの